

妙なるトレモロにふるえた！ マンドリンの新春コンサート

マンドリンなどによる新春コンサートが、文化部によって1月30日に公民館大会議室で行われ、150人の入場者たちは素晴らしい演奏や司会者の解説を存分に堪能しました。

演奏したのは相模原マンドリン倶楽部の人たちで、第一部と第二部に別れて各々20数人ずつが出演しました。

曲目は第一部（世界の音楽）が、「サンタルチア幻想曲、ラ・クンパルシータ、シンコ



そろって、ピックさばきも鮮やかに

どれも耳に慣れ親しんだ数々の曲でした。

司会者は各曲ごとに、その歌にまつわるエピソード（例えば「愛のロマンス」については「禁じられた遊びの映画では、この曲をギター一本で

ペーテッドクロック、愛のロマンス、エスパニアカーニ」の5曲、第二部（日本の音楽）は「旅愁を主題とする変奏曲、浜辺の歌、会津磐梯山と八木節、見上げてごらん夜の星を」の各曲、他にアンコールに添えての「冬（日本の四季）」と、

「子どものサインを見逃すな」 子育て・こころ育ての講座で

1月20日、子育てサポート委員会は講師にファミリースポーツむくの木代表の植野美也子氏を迎え「ココロがラクになる子育て講座」を開きました。参加者は子ども14人、大人11人でした。

講話は子どもと両親のコミュニケーションが大切というもので、大要は次のようでした。「①聴く。子どもの表すサインを見逃さない。②伝える。子どもの気持も尊重し、伝えたいことを素直に伝える。



講師との会話にいやされて…

③考える。子どもの答えを引き出す」などでした。参加者の感想は「忙しくて、イライラしないで言葉に出して表現したい」「子ども

弾いていたが、これは予算不足のためとの説もある」などを、あれこれ軽妙に披露して人々の関心を高めました。また、マンドリン・マンドラ・マンドロンセロ・コントラバス・ギターの各楽器について紹介があった後、全員で「故郷」を合唱しました。入場者の感想は「素晴らしい演奏でプロの集団のように」「司会者のトークは知識が豊富で面白かった」などと絶賛の声がしきりでした。

500人で賑わった 子どもまつり

本年度の子どもまつりが昨年の12月6日に公民館の1、2階の部屋で行われ、約500人の入場者で賑わいました。

まつりの内容は、フルーツパフェ・わたあめなどの模擬店、ボールの当て・輪投げ・輪ゴムの射的・紙ひこうきや折り紙などのゲームコーナー、「のろわれた病院」と題したお化け屋敷などでした。この



「ホットなホットドックをどうぞ」

他、外部の人によるジャグリングの曲芸がありました。このまつりは青少年部の主管のもと、館区内の4小学校の生徒約50人によって企画・運営されました。

親子で遊んだ サタデーキッズルーム

1月23日、サタデーキッズルームが同実行委員会によって、布おもちゃサークル「ピノキオ」の協力で行われ、おはなし会やプレイルームで大いに盛り上りました。

たくさんのお話しに沿って、スタッフが扮した赤鬼・青鬼に親



布おもちゃに夢中

20人で、「今回宣伝が効いて大勢の参加があったので大変うれしかったです」とある実行委員は喜んでいました。